
e-ALPHA(12V)

取扱説明書

2022 年 1 月 26 日

株式会社アルファ

改訂履歴

項番	版数	作成日/改訂日	変更箇所	変更内容
1	1.0	2022/1/26		初版
2				
3				
4				
5				

本取扱説明書は、e-ALPHA(以下「本機」と言う)の取付の際にご覧下さい。

本取扱説明書は大切に保管下さい。

- ・本書の内容は本機改良のため予告なく変更する場合があります。
- ・本製品を使用した事によるお客様の損害、逸失利益、又は第三者のいかなる利益につきましても、当社は一切責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

目次

1. 製品概要	1
2. 外観	1
3. 外径図	1
4. 鉛バッテリーへの取付方法	2
5. 保守点検	2
6. 製品保証	4

1. 製品概要

本機は、鉛バッテリーの電極をリフレッシュすることにより、性能維持と寿命延長を目的とした製品です。リフレッシュ対象となる鉛バッテリーは 12V です。6V バッテリー * 2 個が直列で接続されている場合等は、12V 毎に e-ALPHA を取り付けてください。

2. 外観

本機の外観について示します。



図 2 e-ALPHA(12V)の外観

3. 外径図

本機の外径図について示します。

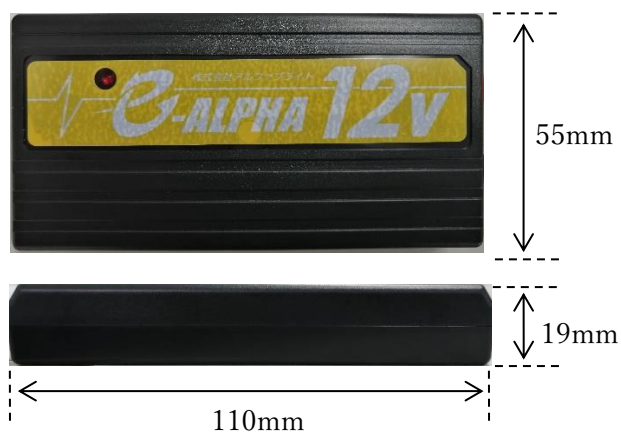


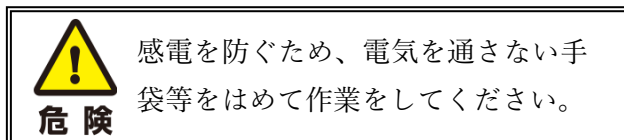
図 3 外径図

4. 鉛バッテリーへの取付方法

<https://www.youtube.com/watch?v=X74kHuK2Slw>

(取付動画は上記の URL で確認できます。)

本機の鉛バッテリーへの取付方法について示します。



- ①本機のマイナス電極と鉛バッテリーの**マイナス電極**を接続します。
- ②本機のプラス電極と鉛バッテリーの**プラス電極**を接続します。

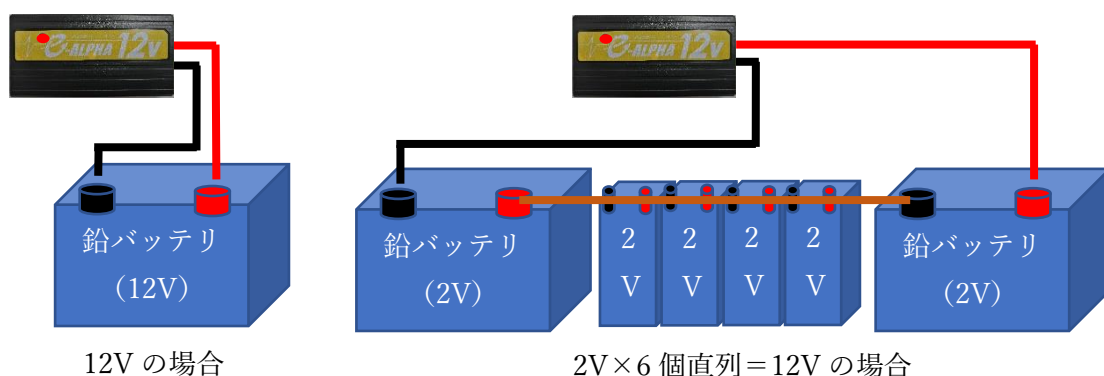



図 4 本機の鉛バッテリーへの取付方法

- ③本機への通電が開始されると、LED が赤色に点灯します。



図 4-2 本機への通電確認と防水措置

※本機を取り外す場合は、マイナス電極の取り外しの後、プラス電極の取り外しの順番で行ってください。

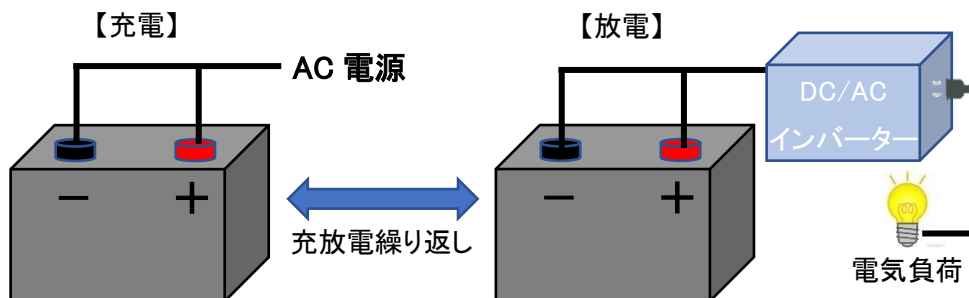


5. **取り付け**の
e-ALPHA は、油分を取り除いた、バッテリー本体に両面テープでしっかりと固定してください。バッテリー以外に固定する場合は、熱を持たない所で振動脱落しないよう固定してください。またケーブルは結束バンドでまとめ
てください。

e-ALPHA を取り付けした後、**通常使用(充放電を繰り返す)**してください。e-ALPHA の電極リフ

レッシュ効果は、鉛バッテリーの充電時に効果を発揮いたします。

非常用バックアップ電源に使用されている鉛バッテリーの場合は、通常使用では自然放電とトリクル充電を繰り返しており、充放電の電気容量が小さく、電極リフレッシュに時間を要します。急ぎで電極リフレッシュが必要な場合は、下図の例のように人為的に充放電を繰り返してください。



6. 保守点検

本機の保守点検は、通電確認用 LED の点灯・消灯で確認をしてください。LED が赤色点灯していれば正常です。バッテリーに接続しているにも関わらず、LED が消灯している場合は、次の手順で確認をしてください。

手順1. バッテリー電圧を測定

バッテリー電圧が 12.3V 以上あるかどうかを確認してください。バッテリー電圧が 12.3V 未満の場合は、バッテリーを充電してください。

※e-ALPHA は、バッテリーの全放電を防ぐために、バッテリー電圧が 12.3V を下回ると機能を停止します。

手順2. バッテリー電圧が 12.3V 以上ある場合

e-ALPHA の故障が考えられますので、問い合わせ窓口に連絡をしてください。



図 5 通電確認用 LED

7. 製品保証

本機は、ご購入後 1 年間の故障による修理については無償とします。

但し無償保証期間内であっても、下記の様な場合には保証期間内でも有償修理と成りますので、予めご承知おき下さい。

- ・ 取り扱い上の誤り、不当な改造や修理による故障・損傷。
- ・ 落下あるいは輸送中による故障および破損。
- ・ 地震、火災、水害、落雷、異常電圧等の天災地変による故障・破損。

本機が故障した場合の修理方法に付いては、基本的にセンドバック方式(注)によるものとします。

(注)： センドバック方式とは、修理装置を弊社に送付して頂き修理後、ご返送するものです。

問い合わせ先：